

JR西日本とソフトバンクは、まちづくりと連携した持続可能な地域交通としての次世代モビリティサービスの実現に向けて、自動運転と隊列走行技術を用いたBRT※の実証実験を開始しました。

※Bus Rapid Transit:バス高速輸送システム



カテゴリ	実証項目
①車両制御	自己位置推定、障害物検知、自動入庫、遠隔コントロール
②信号制御	単一車線での交互通行ポイント専用道と一般道の交差ポイント
③運行管理	運行スケジュール管理、隊列管理、車内監視、車両状態監視
④インフラ協調	①～③に必要な走行環境・設備検討

新技術による社会課題解決

人口減少・高齢化が進む社会において、労働力不足への対応やバリアフリー化が求められる中、自動運転や隊列走行技術などにより、弾力的な輸送需要への対応や、シームレスな移動サービスの提供を実現し、社会課題解決を目指します。

新技術の社会実装に向けて、ご関心をお持ち頂いた皆様との対話を積極的に進めていきます。

スケジュール | 2020年代半ばの社会実装をめざします

